



## CMS 801 Series

CMS 801 SUB BM/CMS 801 SUB PI  
8" Compact Ceiling Mounted Subwoofer for Installation Applications  
(Blind Mount)/(Pre-Install)

CMS 801 PI 8 OHM BACKCAN  
Back Can for CMS 801 PI Series Ceiling Loudspeakers (Pre-Install)

JP

JP

安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

**9.** ニ極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。ニ極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

**10.** 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

**11.** すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



**12.** 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

**13.** 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

**14.** カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

**15.** 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

**16.** 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



**17.** 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたできません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

**18.** ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

**19.** 本機の上に点火した蠟燭などの裸火を置かないでください。

**20.** 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

**21.** 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

**法的放棄**

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2022 無断転用禁止。

**限定保証**

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 [community.musictribe.com/pages/support#warranty](https://community.musictribe.com/pages/support#warranty) にて詳細をご確認ください。

**前書き**

このタンノイ天井モニターシステム製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この製品範囲は、妥協のない信頼性を備えた並外れた音質を必要とする高レベルの音楽および音声強化アプリケーションに適しています。

**開梱**

すべての Tannoy 製品および付属品は、梱包する前に注意深く検査されます。開梱後、輸送中に損傷が発生していないことを確認するために製品を検査してください。万が一損傷が発生した場合は、すぐに販売店に通知し、輸送用カートンを保管してください。販売店から、故障したユニットを検査のために返送するように求められる場合があります。

各 CMS スピーカーはペアで梱包され、標準で次のアクセサリが付属しています。C リング、タイルブリッジキット、グリル、カットアウトテンプレート、ペイントマスク。オプションのエクストラとして、石膏 (泥) リングも利用できます。

**安全上の注意**

一部の地域の建設規則では、バックアップサポートのセキュリティを提供するために、スピーカーを天井に固定する 2 番目の方法を使用する必要があります。二次サポートラインは、製品の背面にある安全ループから天井のソースポイントに接続する必要があります。お住まいの地域の関連する建設コードを参照してください。

パワードライバーを使用して製品を取り付ける場合は、適切なトルクレベル設定を使用して、締めすぎや天井材またはクランプの損傷を防ぐことが不可欠です。推奨トルク設定: 1.5 Nm

タンノイ これらのスピーカーの不適切な設置によって生じたいかなる損害についても責任を負いません。

電気安全上の注意: 標準 UL1480 に準拠するには、適切なアース接地のために端子台に接続するために金属被覆フレキシブルコンジット (BX) が必要です。

UL 規制に準拠するには、PI バックカンを常に CMSPI モデルで使用する必要があります。

安全上の注意:  
関連する防火規制 (すなわち BS 5839: 1998) に準拠するために、火災が発生した場合、建物の避難が完了する前にスピーカーが接続されている回路の故障が発生しないことが要求されます。適切な対策には、次のものが含まれます。-a) たとえばセラミック材料で構成された、融点が 650℃ 以上の端子台 (一次接続用) の使用。c) 融点が低いが、断熱材で保護された端子台の使用。d) 溶融時に、開回路または短絡が発生しないような端子台の使用。

JP

# 製品の機能の識別

図 1.1: ブラインドマウント (BM) モデルには、事前に取り付けられたバック缶が付属しています

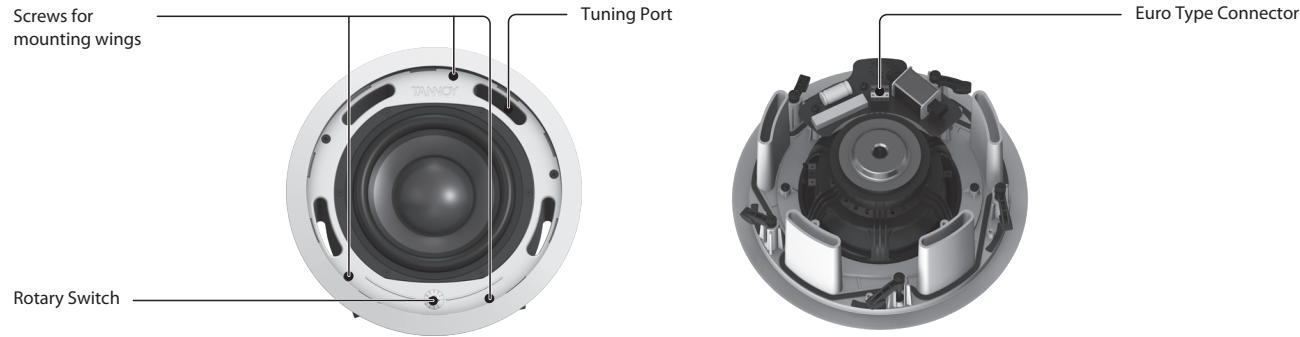


図 1.2: オプションのプレインストールバック缶なしで示されているプレインストール (PI) モデル

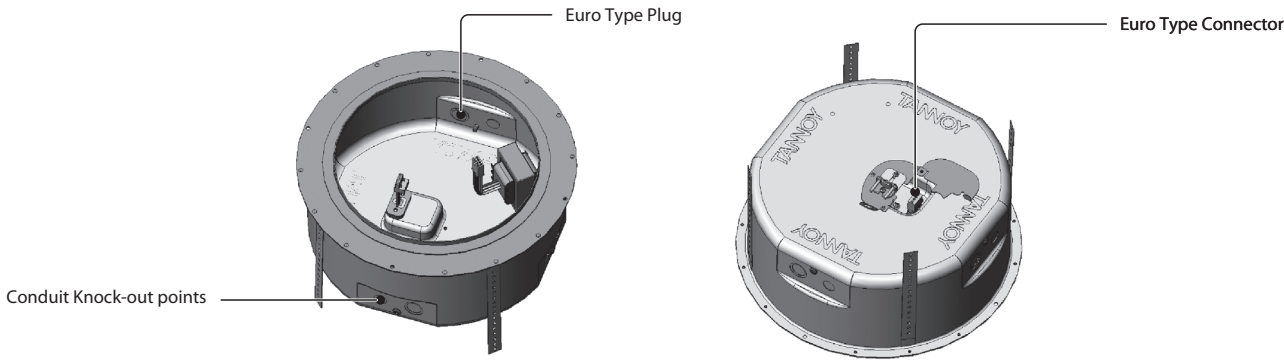
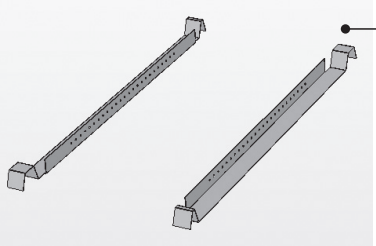
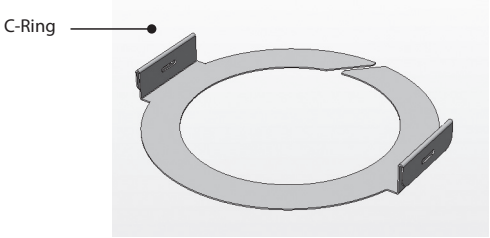


図 1.3: PIモデル用のオプションのプレインストール (PI) バック缶

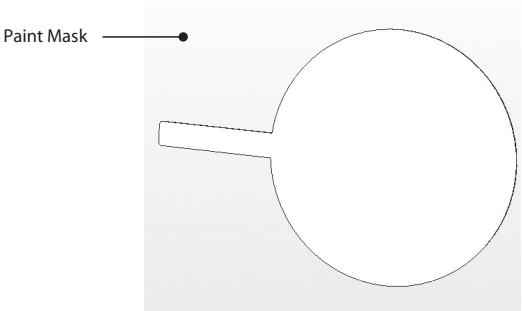
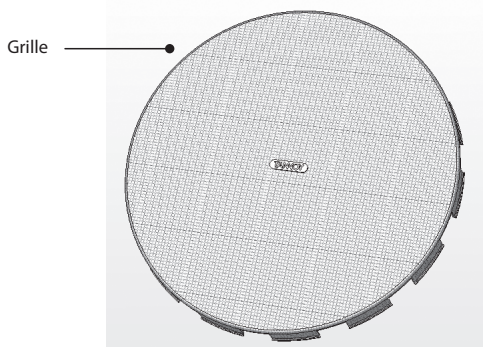
CMS 801 PI モデルの変圧器は、簡単に設置できるように CMS 801 PI バック缶に事前に取り付けられていることに注意してください。

# 付属品

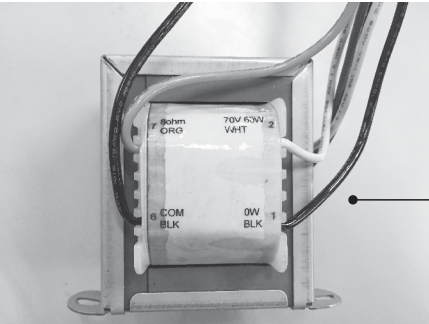
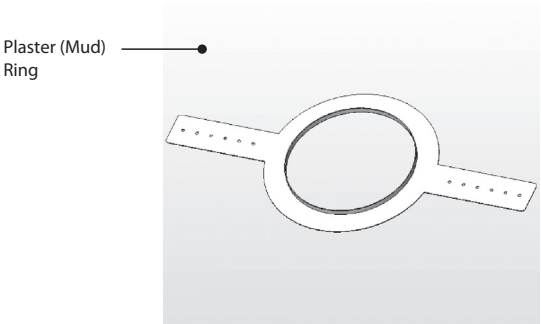
各製品には、次のアクセサリが標準で付属しています。



Note: A tile bridge kit must always be used when installing into suspended ceiling tiles



オプションのアクセサリ:

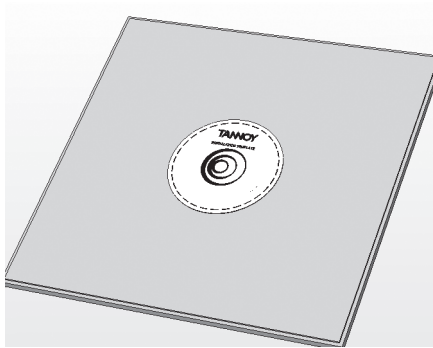


NOTE: for use with CMS801 PI model in distributed lines without back-cans.

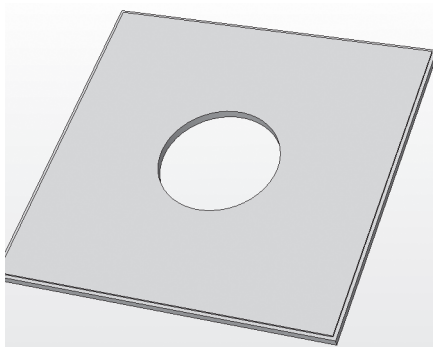


## 吊り天井の機械的設置ガイド

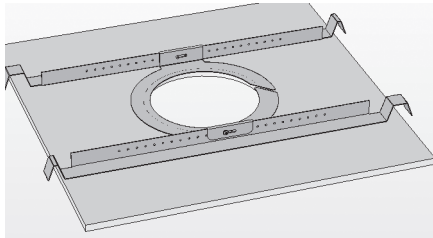
1. フレームから天井タイルを取り外し、平らな面に置きます。提供されたテンプレートの周りをトレースして、天井タイルの切り抜き領域をマークします。



2. 丸鋸またはパッドソーを使用して、天井タイルに穴を開けます。



3. リングとタイルブリッジを天井パネルの上に置き、リングを穴に合わせ、付属の固定具を使用してリングをタイルブリッジにねじ込みます。



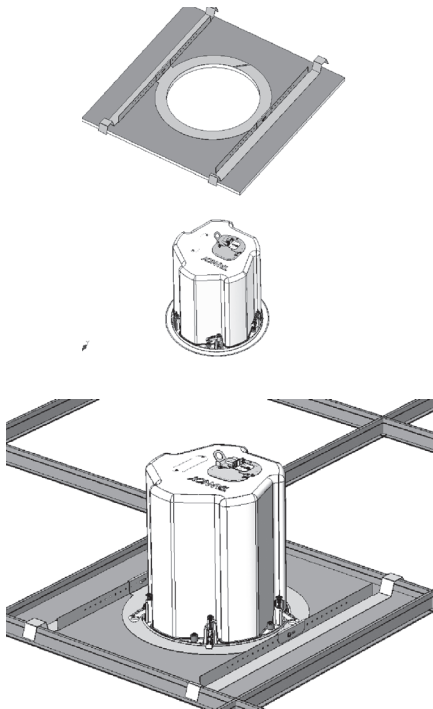
4. スピーカーアセンブリを穴に通してスライドさせ、スピーカーの前面にあるネジを回して取り付けウィングを伸ばします。しっかりとグリップするまでネジを締めます。

パワードрайバーを使用する場合、タンノイ 1.5 Nm のトルク設定をお勧めします。

**締めすぎないでください!**

5. タイルパネルをスライドさせて吊り天井に戻します。タイル橋の端が手すりに引っ掛かり、スピーカーの重量を支えます。

配線とセットアップの手順については、「配線とセットアップ」セクションに進んでください。



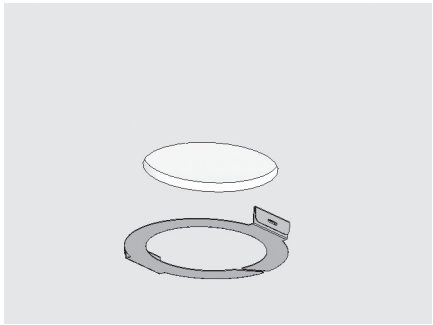
## SheetRock (石膏ボード) 天井の機械的設置ガイド

JP

1. 提供されたテンプレートの周りをトレースして、天井の切り欠き領域に印を付けます。



2. 丸鋸またはパッドソーを使用して天井の穴を切り取り、リングを天井にスライドさせて切り抜き穴に合わせます。

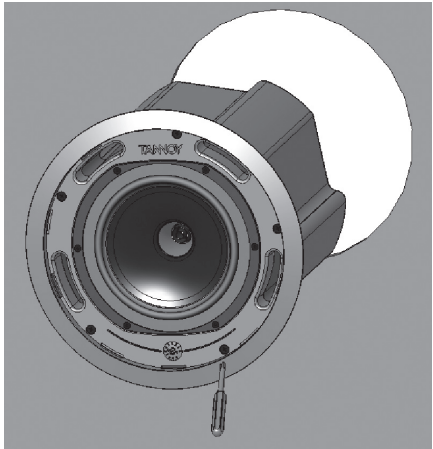


3. 配線とセットアップの手順については、「配線とセットアップ」セクションに移動してから、以下のポイント 4 に戻ってください。

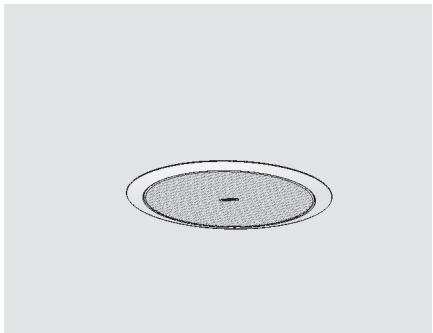
4. スピーカーアセンブリを穴に通し、ネジを回して取り付けウィングを伸ばします。しっかりとグリップするまでネジを締めます。

パワードрайバーを使用する場合、タンノイ 1.5 Nm のトルク設定をお勧めします。

**締めすぎないでください!**



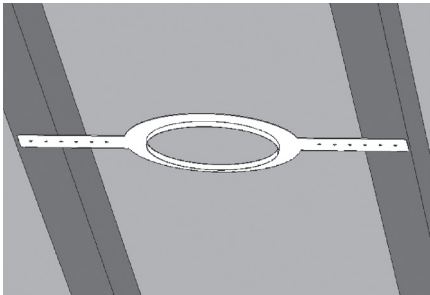
5. グリルをスピーカーに押し付けて挿入します。



オプションの石膏リングの機械的取り付け手順:

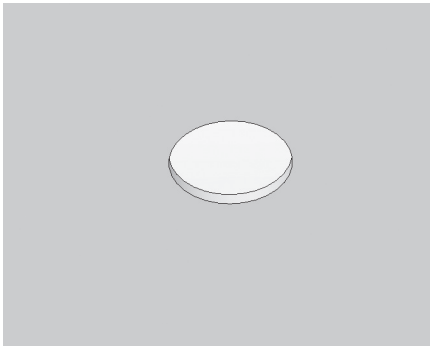
オプションの石膏（泥）リングブラケットは Tannoy から入手できます。このブラケットは、新しく建設された吊り天井に事前に取り付けられるように設計されています。

1. 石膏リングを根太に釘付けまたはねじ込みます。



2. スピーカーを取り付ける場所にスピーカーの配線を敷き、天井の左官工事を完了します。

3. 丸鋸またはパッドソーを使用して天井の穴を切り取ります。

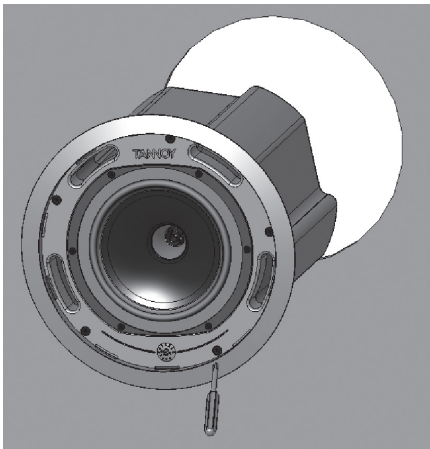


4. 配線の手順については、「配線とセットアップ」セクションに移動してから、以下のポイント 5 に戻ってください。

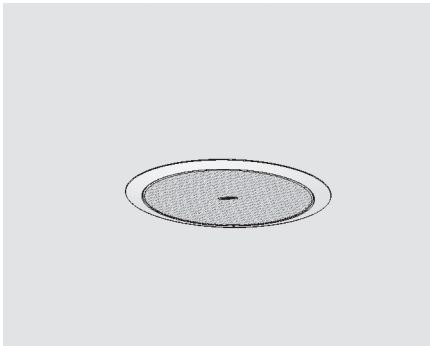
5. スピーカーアセンブリを穴に通し、ネジを回して取り付けウィングを伸ばします。しっかりとグリップするまでネジを締めます。

パワードрайバーを使用する場合、タンノイ 1.5 Nm のトルク設定をお勧めします。

**締めすぎないでください!**



6. グリルをスピーカーに押し付けて挿入します。



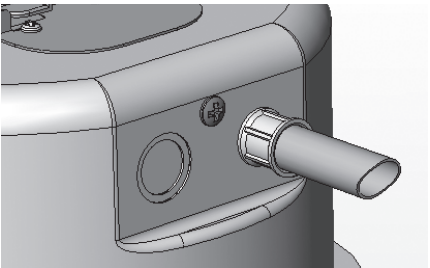
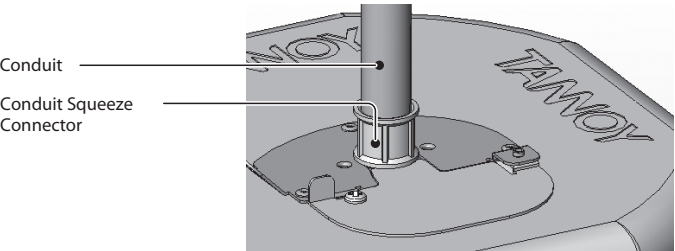
オプションのプレインストールバック缶の説明 (Pi モデルのみ):

オプションのプレインストールバック缶は、すべての pi (プレインストール) モデルで使用できます。このバック缶は、新しく建設された吊り天井に事前に取り付けられるように設計されています。

CMS 801 PI モデルの変圧器は、簡単に設置できるように CMS 801 PI バック缶に事前に取り付けられていることに注意してください。

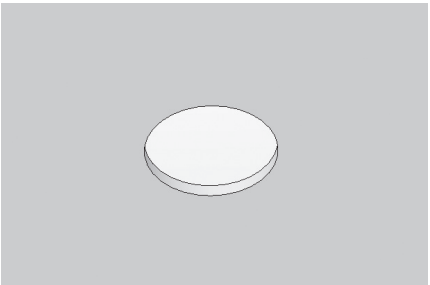
1. 取り付けたコンジットにバック缶を取り付けます。これは2つの方法で取り付けることができます:

- a. プレインストールバック缶の背面にあるクランプを使用できます。この製品は、最大 22 mm のねじサイズのスクイズコネクタを受け入れます。ケーブルクランプを取り外すには、ケーブルクランプを所定の位置に保持しているねじワッシャ（配線カバーの下）を緩め、コンジットスクイズコネクタと交換します。
- b. PI バック缶の側面にある 3 つのノックアウトポイント（直径 19 mm、22 mm、または 28 mm）のいずれかを使用できます。



2. スピーカーを取り付ける場所にスピーカーの配線を敷き、天井の左官工事を完了します。

3. 丸鋸またはパッドソーを使用して天井の穴を切り取ります

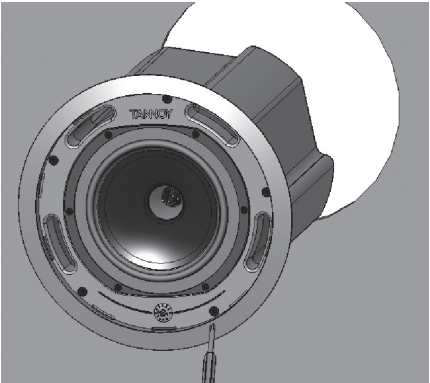


4. 配線とセットアップの手順については、「配線とセットアップ」セクションに移動してから、以下のポイント 5 に戻ってください。

5. スピーカーアセンブリを穴に通し、ネジを回して取り付けウィングを伸ばします。しっかりとグリップするまでネジを締めます。

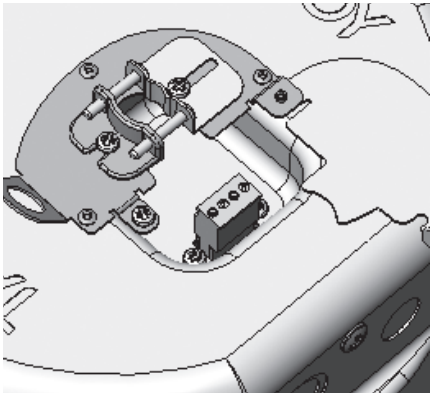
パワードрайバーを使用する場合、タンノイ 1.5 Nm のトルク設定をお勧めします。

**締めすぎないでください!**



配線とセットアップ:

1. スピーカー缶の裏側にある配線カバーを開けて、ユーロタイプのコネクタプラグとソケットにアクセスします。

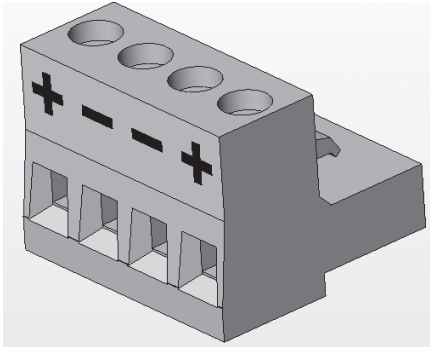


2. アンプへの接続には、ピン 1 と 2 を使用します。

- ・ ピン 1 は正です
- ・ ピン 2 は負です

分散ラインの追加スピーカーに接続するために、ピン 3 と 4 は並列になっています。

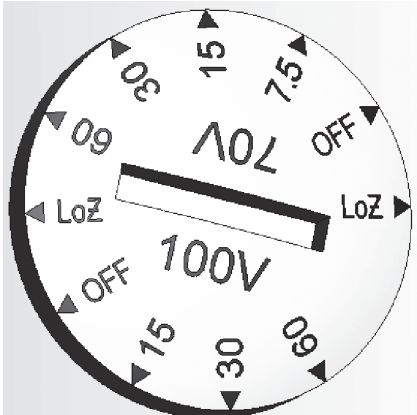
- ・ ピン 3 は負です
- ・ ピン 4 は正です



3. 配線カバーを閉じ、ケーブルクランプの両方のネジを締めます。ユニットの前面にあるロータリースイッチを使用して、スピーカーを低インピーダンスまたは分散回線のどちらのアプリケーションで使用するかを選択します。

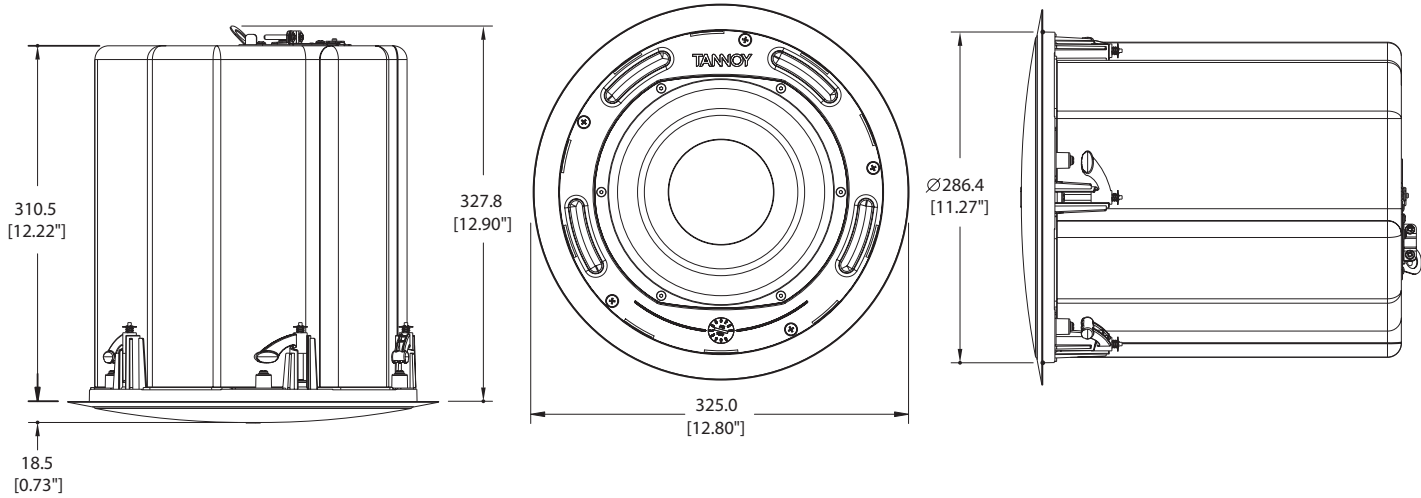
スピーカーは低インピーダンスモードで供給されます。低インピーダンスに設定されている間は、スピーカーを 70/100 ボルトのアンプに接続しないでください。

すべての CMS801 モデルは 60 W トランスを使用します。分散型ラインシステムを使用する場合、変圧器は 60 W、30 W、および 15 W でタップでき、70.7 V ラインシステムではさらに 7.5 W のタップが可能です。



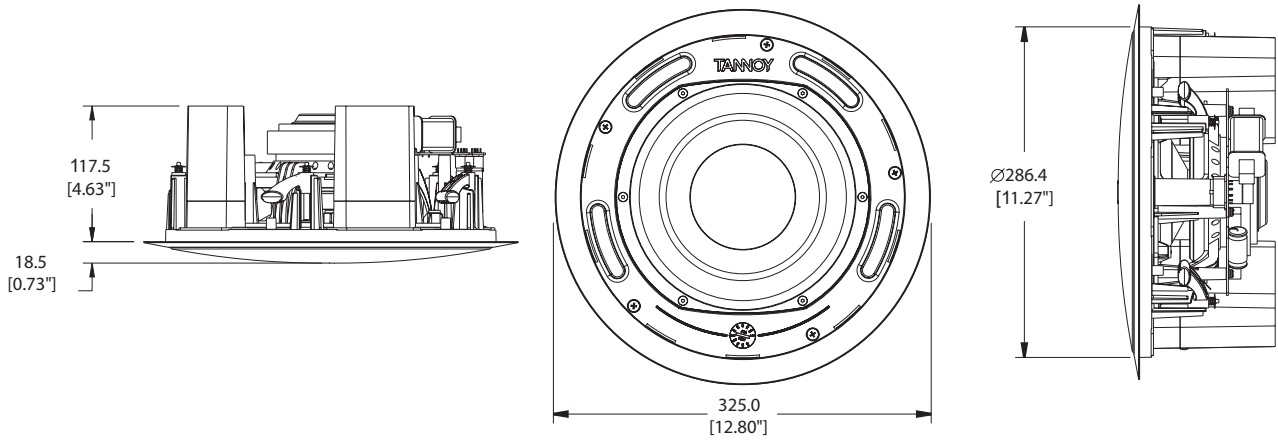
CMS 801 サブ BM 寸法:

テンプレート穴カットアウトサイズ: 295 mm



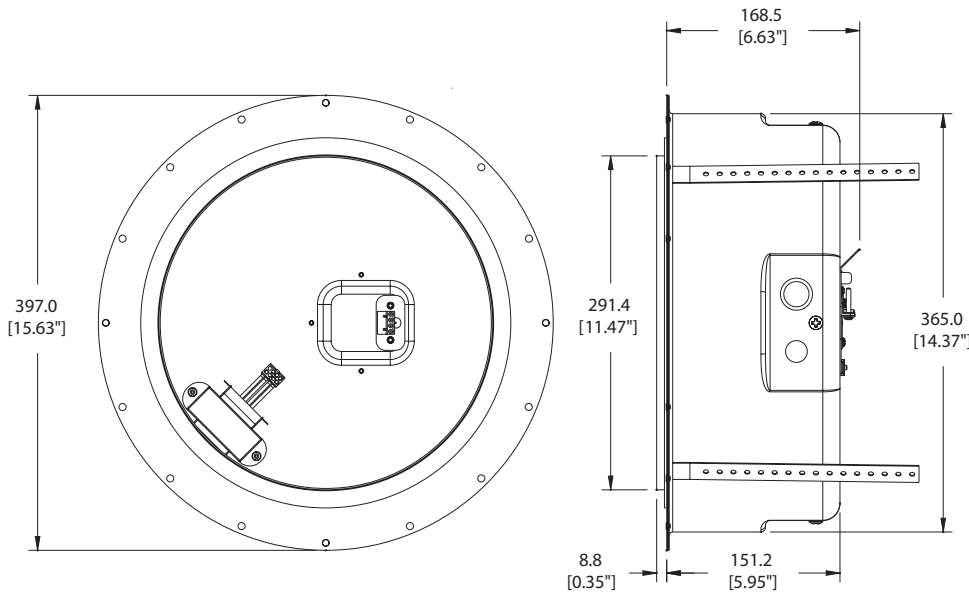
CMS 801 サブ PI の寸法:

テンプレート穴カットアウトサイズ: 295 mm



CMS 801 PI バック缶の寸法:

テンプレート穴カットアウトサイズ: 295 mm



# 技術仕様

システム	
周波数応答 (-3 dB) (1)	58 Hz~160 Hz
周波数範囲 (-10 dB) (1)	42 Hz-300 Hz
システム感度 (1 W @ 1 m) (2)	92 dB (1 W = 2.45 V、8 オーム)
定格最大 SPL (2) THP 60 あり	112 dB (平均) 118 dB (ピーク) 110 dB (平均)
パワーハンドリング (3)	
平均	100 W
プログラム	200 W
ピーク	400 W
推奨アンプパワー	200 W @ 8 オーム
公称インピーダンス	8 オーム
変圧器タップ (フロントロラリースイッチ経由)	
入力信号の周波数範囲	58 Hz~20 kHz
70 V	60 W / 30 W / 15 W / 7.5 W / OFF & 低インピーダンス動作
100 V	60 W / 30 W / 15 W / OFF & 低インピーダンス動作
クロスオーバー	一体型 2 次パッシブ、160 Hz
トランスデューサー	
低頻度	マルチファイバーペーパーパルプコーンを備えた 1 x 200 mm (8.00") ロングスローウーファー
高周波	
エンクロージャー	
バック缶	亜鉛メッキ鋼
バッフル	反射負荷 UL 94V-0 定格 ABS
グリル	スチール、耐候性コーティング付き
安全機能	耐荷重安全ボンド用のエンクロージャーの背面にある安全リング
クランプ設計	セキュリティトルククランプ
トランスデューサー	
Backcan オプション	
ブラインドマウント (BM)	固定バック缶付き
ブレインストール (PI)	ブレインストール用の別のバック缶
ケーブル入力オプション	22 mm までのコンジット用のケーブルクランプおよびスクイーズコネクタ
コンジットノックアウト	3 セットの水平位置 19/22 / 28mm (0.75 / 0.87 / 1.1")
コネクタ	「ループスルー」機能を備えたネジ留め式端子付きの取り外し可能なロックコネクタ
安全機関の評価 (保留中)	UL-1480、UL-2043、CE
BM 穴カットアウト径	295 mm (11.61")
PI 穴カットアウト径	295 mm (11.61")

注文情報	
ベゼル径	325 mm (12.80")
天井前から後缶 (BM)	310.5 mm (12.22")
天井の前面から安全ループ (BM) の上部まで	327.8 mm (12.90")
天井面裏から裏缶 (PI)	151.2 mm (5.95")
天井面の裏側から安全ループ (PI) の上部まで	168.5 mm (6.63")
天井の前からバスポートの後ろまで (後ろはできません) PI	123.7 mm (4.87")
正味重量 (ea)	
CMS 801 BM	8.4 kg (18.48 ポンド)
CMS 801 PI	4.7 kg (10.34 ポンド)
PI バック缶	4.2 kg (9.25 ポンド)
付属のアクセサリ	C リング、タイルブリッジ、ペイントマスク、切り抜きテンプレート、グリル
オプションのアクセサリ	しっくい (泥) リング

(CMS 801 サブ) 注意事項  
(1) 指定された帯域幅の平均。無響室の IEC バッフルで測定  
(2) 無響室の IEC バッフルで測定された重み付けされていないピンクノイズ入力。スピーカーをコーナー (1/2) 近くの天井に配置すると、感度が 6 dB 向上し、最大 SPL を実現できます。  
(3) EIA-426B テストで定義されている長期電力処理能力全範囲の測定、パフォーマンスデータ、および Ease™ データは tannoy.com からダウンロードできます。  
タンノイ継続的な研究開発の方針を運営しています。新しい材料または製造方法の導入は、常に公開されている仕様と同じかそれを上回ります。Tannoy は、事前の通知なしに変更する権利を留保します。重要なアプリケーションを扱うときは、最新の仕様を確認してください

注文情報			
モデル名	バッフル/グリルカラー	梱包数量	梱包重量 kg (lbs)
CMS 801 SUB BM	白い	2	20.2 (44.44)
CMS 801 SUB PI	白い	2	12.2 (26.84)



# その他の重要な情報

JP

JP

その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**  
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

**2. 故障:** MusicTribe ディーラーがお客様のお近くにいるときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MusicTribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

**3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。



